

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(強度計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/4/8	NS2-添3-005-55	強度(計算書)(VI-3-3-3-6-2-3)	VI-3-3-3-6-2-3 高圧炉心スプレー補機海水ポンプの強度計算書	P.3	高圧炉心スプレー補機海水ポンプのボルトの強度評価について、強度評価部位を示す図ではボルト④→⑥の順で自重が大きくなっているが、使用状態における必要な最小ボルト荷重 Wm1 は④→⑥の順で小さくなっている理由を説明すること。	2022/7/22	Wm1については以下の式により求められます。 $Wm1 = \pi / 4 \times Dg^2 \times P + (\text{自重})$ Dg:セルフシールガスケットの外径 P:最高使用圧力 上記の式の通りWm1は内圧による荷重+自重の合計値であることから、一概に④→⑥の順で自重の大きき通りとはならず、Dgの値が④→⑥の順で小さくなることから、Wm1の値についても④→⑥の順で小さくなっております。	-	
2	2022/4/8	NS2-補-028改03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(各クラス機器の強度に関する計算書)	P.57	重大事故等クラス2ポンプの強度計算について、同型のポンプで支持構造物の強度評価対象が有るものと無いものがある理由を構造の違いを踏まえて説明すること。(例:同じ縦軸ポンプである原子炉補機海水ポンプは評価対象有り、残留熱除去ポンプは評価無し)	2022/7/22	設計・建設規格 SSC-3010に従い、支持構造物とケーシングが鑄造等の工法により一体構造のポンプについては支持構造物は評価対象外としており、ケーシングに溶接された支持構造物については評価対象としております。 (例:原子炉補機海水ポンプは支持構造物がケーシングに溶接されており、残留熱除去ポンプは支持構造物とケーシングが一体構造)	-	
3	2022/5/13	NS2-添3-004-11	強度(計算書)(VI-3-3-2-2-3-3)	VI-3-3-2-2-3-3 管(可搬)の強度計算書(燃料ブールスプレイ系)	P.4	(b-2)の記載のうち、設計・建設規格と設計許容応力の関係性が分かるように説明すること。	2022/7/22 2022/10/21	島根2号機では、SAクラス3機器の強度評価は“VI-3-2-13 重大事故等クラス3機器の強度評価方法”のとおり発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JSME S NC1-2005/2007)により評価を行っていることから、評価に用いる設計許容応力は同規格「GNR-2200 荷重の組合せと許容基準」の解説に基づき、降伏点に対して5/8基準とした値を適用しています。 なお、評価に用いる設計許容応力について、2008年度版以降の設計・建設規格では降伏点に対して2/3基準とした値に見直されてはいますが、現状の5/8基準とした値を用いた方が保守的な評価となります。	-	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(強度計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～242は、NS2-他-167改07で整理済みのため省略。						
243	NS2-添3-004-13改01	VI-3-3-2-2-3-2-1 管(可搬)の強度計算書(原子炉建物放水設備)	P.1,3	機器名に「250A スーパーラインA」、「300A スーパーラインA」と商品名を記載していましたが、名称変更や同仕様の名称の異なるホースを採用する可能性を踏まえ、商品名ではなく「ホース」に記載を変更しました。 また、規格及び基準に基づく試験欄の耐圧試験値等について、誤った数値を記載していたため適正化しました。	2023/4/21	
244	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	全般	構造の明確化のため、「原子炉格納容器シェル部」を「サブプレッションチェンバ胴部」に見直しました(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
245	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	目次	記載内容の見直しに伴い、目次を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
246	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.2	構造の説明の充実のため、コネクタについての説明を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
247	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.3	応力評価方法の明確化のため、評価フローを見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
248	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.7	図の追加に伴い、図を呼び込む記載を見直しました。(下線部参照)(耐震計算書修正の反映) (旧)ストレーナの取付状況、形状及び主要寸法を図3-1及び図3-2に示し、 (新)ストレーナの全体配置、鳥瞰図、取付状況、形状及び主要寸法を図3-1及び図3-2に示し、	2023/4/21	
249	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.7	サブプレッションチェンバに対するストレーナの取付方向を明確にするため、全体配置図を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
250	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.8	ストレーナの構造の明確化のため、鳥瞰図を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
251	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.9	解析モデルと実機の方向の対応を明確にするため、IJK座標を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
252	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.10	構造の明確化のため、ストレーナ取付部サポートの形状及び主要寸法の図を追加しました。	2023/4/21	
253	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.11	構造の明確化のため、平面図に⑨を図示しました(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
254	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.13	4.1(1)において、はりモデルが三次元はりモデルであることを示すため、記載を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)はりモデル (新)三次元はりモデル	2023/4/21	
255	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.13,20,22,23,25	解析モデルを区別するため、解析モデルの名称を見直しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)応答解析用モデル (新)荷重算出用モデル(単体モデル)	2023/4/21	
256	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.20	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、記載を適正化しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)有限要素モデル (新)三次元はりモデル	2023/4/21	
257	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.20	算出する荷重の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)荷重 (新)荷重(死荷重及び水力学的動荷重)	2023/4/21	
258	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書	P.20	解析モデルのモデル化条件を明確にするため、荷重算出用モデル(単体モデル)の説明とストレーナのモデル化の説明を別項目((1)及び(2))として記載しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
259	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.20	内容の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照)(耐震計算書修正の反映) (旧)解析モデルを用意し、包絡した (新)解析モデルによる解析結果を包絡した	2023/4/21	
260	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.20	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、モデル化方法の詳細を(3)及び(4)に記載しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
261	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.21	図の追加に伴い、記載を適正化しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)図4-3の○の節点 (新)図4-3(1)及び図4-3(2)の○の節点	2023/4/21	
262	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.21	内容の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)応答解析では内包水及び排除水の影響を加味し、ストレナーナ質量に含める。 (新)荷重算出用モデル(単体モデル)では内包水の質量及び付加質量(機器が流体中で加速度を受けた場合に質量が増加したような効果を模擬した、機器の形状により定まる仮想質量)をストレナーナ質量に含める。	2023/4/21	
263	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.22,23	解析モデルのモデル化条件の明確化のため、ばね定数の設定方向を局所座標系として記載、拘束位置の部位名称を記載、モデル寸法を記載しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
264	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.24	局部剛性の設定方法についての説明の追加に伴い、サブプレッションチェンパ胴部及びサポートプレートのばね定数設定モデルの図を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
265	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.25	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)ストレナーナの内包水及び排除水の質量 (新)ストレナーナの内包水質量及び付加質量	2023/4/21	
266	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.25	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、解析モデルにおけるばね定数、断面積、断面二次モーメントを記載しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
267	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.28	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、記載を適正化しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)有限要素モデル (新)三次元シェルモデル	2023/4/21	
268	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.28	図が示す内容を明確にするため、図4-5の名称を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
269	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.28	解析モデルの条件を明確にするため、要素数・節点数を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
270	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.31	ストレナーナ取付部フランジの設計荷重の説明について、適切な表現となるよう記載を見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
271	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.34	他の耐震計算書と記載をあわせるため、記載を修正しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)・・・を用いて算出した許容応力以下であること。 (新)・・・で定めた許容応力以下であること。	2023/4/21	
272	NS2-添3-005-11改01	VI-3-3-3-3-1-3 残留熱除去系ストレナーナの強度計算書	P.36	記載の適正化のため、引用文献の著者を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
273	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	全般	構造の明確化のため、「原子炉格納容器シェル部」を「サブプレッションチェンパ胴部」に見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
274	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	全般	記載内容の見直しに伴い、図番号を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
275	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	目次	記載内容の見直しに伴い、目次を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
276	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	P.2	概略構造図の説明の充実のため、ティーの矢視を追加しました。	2023/4/21	
277	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	P.3	応力評価方法の明確化のため、評価フローを見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
278	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	P.8	4.1(1)において、はりモデルが三次元はりモデルであることを示すため、記載を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)はりモデル (新)三次元はりモデル	2023/4/21	
279	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	P.8, 14	解析モデルを区別するため、解析モデルの名称を見直しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)応答解析用モデル (新)荷重算出用モデル(単体モデル)	2023/4/21	
280	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	P.14	簡潔な記載にするため、解析モデルについての説明は他の図書を参照することとして記載を見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
281	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	P.19	他の耐震計算書と記載をあわせるため、記載を修正しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)を用いて算出した許容応力以下であること。 (新)で定めた許容応力以下であること。	2023/4/21	
282	NS2-添3-005-12改01	VI-3-3-3-1-4 ストレーナ部ティーの応力計算書(残留熱除去系)	P.19	記載の適正化のため、引用文献の著者を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
283	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	全般	構造の明確化のため、「原子炉格納容器シェル部」を「サブプレッションチェンバ胴部」に見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
284	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	全般	記載内容の見直しに伴い、図番号を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
285	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	目次	記載内容の見直しに伴い、目次を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
286	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	P.3	応力評価方法の明確化のため、評価フローを見直しました(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
287	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	P.8	4.1において、はりモデルが三次元はりモデルであることを示すため、記載を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)はりモデル (新)三次元はりモデル	2023/4/21	
288	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	P.8,13	解析モデルを区別するため、解析モデルの名称を見直しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)応答解析用モデル (新)荷重算出用モデル(単体モデル)	2023/4/21	
289	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	P.13	簡潔な記載にするため、解析モデルについての説明は他の図書を参照することとして記載を見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
290	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	P.18	他の耐震計算書と記載をあわせるため、記載を修正しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)・・・を用いて算出した許容応力以下であること。 (新)・・・で定めた許容応力以下であること。	2023/4/21	
291	NS2-添3-005-13改01	VI-3-3-3-1-5 残留熱除去系スレーナ取付部コネクタの強度計算書	P.18	記載の適正化のため、引用文献の著者を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
292	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-1-6 残留熱除去系スレーナ取付部サポートの強度計算書	全般	構造の明確化のため、「原子炉格納容器シェル部」を「サブプレッションチェンバ胴部」に見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
293	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	全般	記載内容の見直しに伴い、図番号を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
294	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	全般	記載内容の見直しに伴い、目次を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
295	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.2	概略構造図の充実のため、概略寸法を記入しました(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
296	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.3	応力評価方法の明確化のため、評価フローを見直しました(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
297	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.7	図の追加に伴い、図を呼び込む記載を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)ストレーナの取付状況、形状及び主要寸法を図3-1及び図3-2に示し、・・・ (新)ストレーナの全体配置図、取付状況、形状及び主要寸法を図3-1及び図3-2に示し、・・・	2023/4/21	
298	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.7	サブプレッションチェンバに対するストレーナの取付方向を明確にするため、全体配置図を追加しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
299	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.8	座標の方向を明確にするため、Z方向がサポート取付方向であることを記載しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
300	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.9	構造を明確にするため、部材の範囲を記載しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
301	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.10	4.1において、はりモデルが三次元はりモデルであることを示すため、記載を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)はりモデル (新)三次元はりモデル	2023/4/21	
302	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.10	解析モデルを区別するため、解析モデルの名称を見直しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)応答解析用モデル (新)荷重算出用モデル(単体モデル)	2023/4/21	
303	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.14	簡潔な記載にするため、解析モデルについての説明は他の図書を参照することとして記載を見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
304	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.14	他図書との記載の統一のため、表題を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)機器諸元(応答解析用モデル) (新)機器諸元	2023/4/21	
305	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.18	図が示す内容を明確にするため、図4-2の名称を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
306	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.18	解析モデルの条件を明確にするため、要素数・節点数を追加しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
307	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.20	他の耐震計算書と記載を合わせるため、記載を修正しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)・・・を用いて算出した許容応力以下であること。 (新)・・・で定めた許容応力以下であること。	2023/4/21	
308	NS2-添3-005-14改01	VI-3-3-3-3-1-6 残留熱除去系ストレーナ取付部サポートの強度計算書	P.20	適用する許容応力の明確化のため、「ただし、組合せ応力は許容引張応力以下であること。」と記載を追加しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
309	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレーナの強度計算書	全体	構造の明確化のため、「原子炉格納容器シェル部」を「サブプレッションチェンバ胴部」に見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
310	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレーナの強度計算書	目次	記載内容の見直しに伴い、目次を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
311	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.3	応力評価方法の明確化のため、評価フローを見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
312	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.7	構造の明確化のため、方向を記載しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
313	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.14	構造の明確化のため、部位名称を見直しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)原子炉格納容器貫通部 (新)サブプレッションチェンバ胴部	2023/4/21	
314	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.14,15	図の追加に伴い、図番号を見直しました。	2023/4/21	
315	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.14	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、記載を適正化しました。(耐震計算書修正の反映) (旧)有限要素モデル (新)三次元はりモデル	2023/4/21	
316	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.14	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、4.3(2)に局部剛性の設定方法についての説明を追加しました。(耐震計算書 修正の反映)	2023/4/21	
317	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.14	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、内包水等のモデル化方法について記載を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)内包水及び排除水の影響を加味し、ストレーナ質量に含める。 (新)内包水の質量及び付加質量(機器が流体中で加速度を受けた場合に質量が増加したような効果を模擬した。機器の形 状により定まる仮想質量)をストレーナ質量に含める。	2023/4/21	
318	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.15	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、解析モデル図にサブプレッションチェンバ胴部の部位名称、拘束条件及びばね の設定方向を記載しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
319	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.15	局部剛性の設定方法についての説明の追加に伴い、サブプレッションチェンバ胴部ばね定数設定モデルの図を追加しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
320	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.16	解析モデルのモデル化方法の明確化のため、内包水等のモデル化方法について記載を見直しました。(下線部参照) (耐震計算書修正の反映) (旧)原子炉隔離時冷却系ストレーナの内包水及び排除水の質量 (新)原子炉隔離時冷却系ストレーナの内包水質量及び付加質量	2023/4/21	
321	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.16	解析モデルのモデル化条件の明確化のため、部材のばね定数、断面積及び断面二次モーメントについて記載しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
322	NS2-添3-005-36	VI-3-3-3-4-4-1 原子炉隔離時冷却系ストレ ーナの強度計算書	P.26	引用文献の著者名を適正化しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
323	NS2-添3-005-37	VI-3-3-3-4-4-2 ストレーナ部ティーの応力計算 書(原子炉隔離時冷却系)	目次	記載内容の見直しに伴い、目次を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
324	NS2-添3-005-37	VI-3-3-3-4-4-2 ストレーナ部ティーの応力計算 書(原子炉隔離時冷却系)	P.2	構造の明確化のため、「原子炉格納容器シェル部」を「サブプレッションチェンバ胴部」に見直しました。 (耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
325	NS2-添3-005-37	VI-3-3-3-4-4-2 ストレーナ部ティーの応力計算 書(原子炉隔離時冷却系)	P.3	応力評価方法の明確化のため、評価フローを見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
326	NS2-添3-005-37	VI-3-3-3-4-4-2 ストレーナ部ティーの応力計算 書(原子炉隔離時冷却系)	P.13	解析モデルの説明はVI-3-3-3-4-4-1「原子炉隔離時冷却系ストレーナの強度計算書」を参照することとして、4.3の記載を見 直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
327	NS2-添3-005-37	VI-3-3-3-4-4-2 ストレーナ部ティーの応力計算 書(原子炉隔離時冷却系)	P.14	4.3の記載見直しに伴い図を削除したことから、図番号を見直しました。(耐震計算書修正の反映)	2023/4/21	
328	NS2-添3-005-66改01	VI-3-3-3-6-3-5-3 管(可搬)の強度計算書(原 子炉補機代替冷却系)	P.1,3	機器名に「250A スーパーラインA」、「300A スーパーラインA」と商品名を記載していましたが、名称変更や同仕様の名称 の異なるホースを採用する可能性を踏まえ、商品名ではなく「ホース」に記載を変更しました。 また、規格及び基準に基づく試験欄の耐圧試験値等について、誤った数値を記載していたため適正化しました。	2023/4/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
329	NS2-添3-006-04改01	VI-3-3-4-2-1-3-1 管の基本板厚計算書(制御棒駆動水圧系)	P.1	概略系統図について、水圧制御ユニット内の隔離弁修理のために配管を切り離し、弁修理後の配管再接続にカップリングを使用するため、カップリング追加後の詳細図として※3詳細の図を追加しました。 なお、水圧制御ユニット内の隔離弁は主要弁に該当せず、また、追加するカップリングは要目表変更前に記載しているカップリングと同仕様であり要目表に変更がないことから、「発電用原子炉施設の工事計画に係る手続きガイド」の修理工事にはあたりません。	2023/4/21	
330	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	目次	図3-1(3)の追加に伴い、ページ番号を適正化しました。	2023/4/21	
331	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.2	耐震計算書の記載に合わせて適正化しました。(下線部参照) (旧) 上部スプレイ管案内管は、ドライウェルに支持された案内管サポート及び原子炉格納容器貫通部に支持される。 ... 下部スプレイ管案内管は、原子炉格納容器貫通部に支持される。 (新) 上部スプレイ管案内管は、ドライウェルに支持された案内管サポート及び原子炉格納容器貫通部(以下「貫通部」という。)に支持される。 ... 下部スプレイ管案内管は、貫通部に支持される。	2023/4/21	
332	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.2	耐震計算書の記載に合わせて適正化しました。(下線部参照) (旧)スプレイ管案内管は外径355.6mm及び厚さ19.0mmのパイプで作られ、スプレイ管と原子炉格納容器貫通部をつなぐ構造である。 (新)スプレイ管案内管は外径355.6mm及び厚さ19.0mmのパイプで作られ、スプレイ管と貫通部をつなぐ構造である。	2023/4/21	
333	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.4	耐震計算書の記載に合わせて適正化しました。(下線部参照) (旧)質量(i=1, 2) (新)単位長さ当たりの質量(i=1, 2)	2023/4/21	
334	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.5	耐震計算書の記載に合わせて適正化しました。(下線部参照) (旧) 質量 荷重 (新) 単位長さ当たりの質量 単位長さ当たりの荷重	2023/4/21	
335	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.6,7	図3-1(1)について、耐震計算書の記載に合わせて「E-E矢視」を追加しました。また、「B部詳細図」を図3-1(1)から図3-1(2)へ移動しました。	2023/4/21	
336	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.7,8	図3-1(2)について、耐震計算書の記載に合わせて「F-F矢視」及び「G-G矢視」を追加しました。また、図3-1(3)を新たに追加し、「C部詳細図」及び「D部詳細図」を図3-1(2)から図3-1(3)へ移動しました。	2023/4/21	
337	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.13,14	4.3 c.及び図4-1(2)について、用語の統一のため記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)下部スプレイ管配管サポート (新)下部スプレイ管サポート	2023/4/21	
338	NS2-添3-009-24改01	VI-3-3-7-2-2-1-1 ドライウェルスプレイ管の強度計算書	P.16	耐震計算書の記載に合わせて応力評価点に関する記載を追記しました。 <追記> なお、上部スプレイ管案内管のエルボ部は応力評価点P1、下部スプレイ管案内管のエルボ部は応力評価点P5の評価に含まれており、応力評価点以外の部位の評価は、選定した応力評価点での応力評価に包絡される。	2023/4/21	
339	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスプレイ管の強度計算書	目次	図3-1(2)の追加等に伴い、ページ番号を適正化しました。	2023/4/21	
340	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスプレイ管の強度計算書	P.2	概略構造図について、耐震計算書に合わせて、「当て板」及び「補強リブ」の図示並びに「D-D矢視」及び「E-E矢視」を追加しました。	2023/4/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
341	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	耐震計算書の記載に合わせて適正化しました。(下線部参照) (旧)質量 (新)単位長さ当たりの質量	2023/4/21	
342	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.4	耐震計算書の記載に合わせて適正化しました。(下線部参照) (旧)質量 荷重 (新)単位長さ当たりの質量 単位長さ当たりの荷重	2023/4/21	
343	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.6	図3-11について、耐震計算書に合わせて、「当て板」及び「補強リブ」の図示並びに「D-D矢視」及び「E-E矢視」を追加しました。また、図3-1(2)の追加に伴い図番号を図3-1(1)に適正化しました。	2023/4/21	
344	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.7	「C部詳細図」及び「F部詳細図」を図3-1(2)として追加しました。	2023/4/21	
345	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.11	4.3 b.について、耐震計算書に合わせ拘束条件を適正化しました。	2023/4/21	
346	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.12	図4-11について、耐震計算書に合わせ拘束記号の説明を適正化しました。(下線部参照) (旧)サプレッションチェンバ補強リングとの結合部*2 (新)補強リングとの結合部*2	2023/4/21	
347	NS2-添3-009-26改01	VI-3-3-7-2-2-1-3 サプレッションチェンバスブレイ管の強度計算書	P.14	耐震計算書の記載に合わせて応力評価点に関する記載を追記しました。 <追記> なお、エルボ部は応力評価点P4の評価に含まれており、応力評価点以外の部位の評価は、選定した応力評価点での応力評価に包絡される。	2023/4/21	